

意外と楽しかったインド

美保 良太郎

十二月ぐらいに僕はインドに行くことを両親から知らされました。僕は最初、冗談かと思ったけれど、後からだんだんインドに行く準備などもしていて本当に行くんだと気づいた僕は、あまりのショックで目の前が真っ暗になりました。

僕は、インドに行くのがとても嫌でした。なぜかというところ、まず友達やいところなどと、離れ離れになりたくなかったからです。さらに新しい所での生活に慣れないし、友達もいないからです。そして、日本の言語も通じないなど、色々な理由でとてもインドに行きたくなかったです。そして、一番インドに行きたくなかった理由は、インドに行く前に友達にお別れ会などもやってもらって、ますます行きたくなくなってしまうました。

でも、インドに行ってみて、思っていたほどインドって住めない環境じゃないなと思いました。どうしてかというところ、まず僕の大好きな動物がたくさんいるし、家はとても広いし、フルーツやはちみつなどもとてもおいしいからです。そして、インドの生活で一番インドも住めるなと思っ

た理由は、インドの人は、子どもにとっても親切で、とても優しいからです。

しかし、今年コロナウイルスが流行ってきた影響で、僕は、日本の家に帰ることになりました。確かにインドは、ロックダウンになり、家から出られなくて大変だったけど、僕は、何か少し悔しかったし、寂しかったです。それに、日本で別れた友達とすぐにまた会うのも、少し恥ずかしいし、少し怖いと思いました。恥ずかしかった理由は、インドに行く時に、とても盛大にお別れ会を開いてもらったからです。怖い理由は、日本にすぐに帰ってきて、あれだけ盛大にお別れ会をやってあげたのにどうしてすぐに帰ってきちゃうのって言われそうだったからです。

僕は、インドで全然英語を覚えられなかったので、インドにまた戻れることを願って、英語の勉強をしたいです。そして、インドの方みたいに子どもに親切で優しい大人になつて子どもたちを幸せにしたいです。